

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 5日
16時55分38秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0009020600	破碎選別工場
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00669	破碎選別工場施設管理事業							
章	05	環境を守り育てるまちづくり							
節	03	循環を基調とするまちづくり							
細節	20	廃棄物対策の推進							
予算事業	10606	01	04	02	05	02	01	01	破碎選別工場施設管理事業（破碎選別処理費）
所属長	當 和浩		担当者（内線）[大矢根（IP563-3001）]						
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 吹田市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例								
事業開始年度	平成4年	直近の改正	平成24年度						
改正内容	吹田市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例の全部改正								
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input checked="" type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input type="radio"/> その他		
対象	破碎選別工場・資源リサイクルセンター		
目標	施設が支障なく使用できること。		
結果	施設が支障なく使用できること。		
事業概要	施設を支障なく使用するための維持管理を行います。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	メタウォーター株式会社西日本営業部
		委託先②	オーチス・エレベータサービス㈱大阪支社
		委託先③	株式会社日立ビルシステム
	主な委託内容		施設の点検保守業務他
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	132,036	82,800	52,411	57,550	236,228
人件費職員数(人)	3.50	3.50	3.50	3.50	3.90
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	28,595	27,650	28,182	28,182	30,986
総事業費(A+B)	160,631	110,450	80,593	85,732	267,214
特定財源(C)	0	14	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	14	0	0	0
市負担(D)	160,631	110,436	80,593	85,732	267,214
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	160,631	110,436	80,593	85,732	267,214
財源計(C+D)	160,631	110,450	80,593	85,732	267,214

所属	破碎選別工場
事務事業番号	00669

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	破碎選別工場・資源リサイクルセンターの維持管理	目標	施設が支障なく使用できること。
成果内容	施設が支障なく使用できること。	達成状況	施設が支障なく使用できています。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由: 建物は建設後26年を経過し老朽化しており、延命事業として実施している工事のうち建物等に係る工事分により毎年事業費の増減はあるが、それ以外については特に予算増減等もなく施設維持管理ができていたため。)</p> <p>【今後の方向性】 事業費等の評価を踏まえると目標は良好に達成できているが、今後ますます老朽化していくことから、規模や重要性などからみて予防保全すべき建物や建築設備については、計画的に改修工事等を実施していく。</p>

事務事業分析シート

所属名	破砕選別工場	事業名	破砕選別工場施設管理事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	669				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組む、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		内部管理	点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		内部管理	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		内部管理	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		内部管理	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができませんか。	
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	破砕選別工場	事務事業番号	669
-----	--------	--------	-----

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(1)妥当性 破砕選別工場は建物の1～3階が工場で4・5階はくるくるプラザになっており、これら全体の施設管理を本事業で実施している。建設後26年が経過し建物の老朽化が進むなか、長期停止が許されない工場としても市民が来場されるプラザとしても、建物は良好に保たれる必要があることから、本事業の実施意義はあるものと考えられる。</p> <p>(3)効率性 ひとつの建物を工場としてもプラザとしても利用しており、建物全体でひとつの空調システムや受電設備ですんでいるためコスト面においても有利であり、及びそれに伴い維持管理面においても効率性は十分に確保できている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 5日
16時56分59秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0009020600	破砕選別工場
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00670	ごみ処理事業							
章	05	環境を守り育てるまちづくり							
節	03	循環を基調とするまちづくり							
細節	20	廃棄物対策の推進							
予算事業	10607	01	04	02	05	03	01	01	ごみ処理事業（破砕選別処理費）
所属長	當 和浩			担当者（内線）	大矢根（IP563-3001）				
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 吹田市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例								
事業開始年度	平成4年	直近の改正			平成24年度				
改正内容	吹田市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例の全部改正								
市単独事業区分	<input type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input checked="" type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	市が収集した大型複雑ごみ、小型複雑ごみ、有害危険ごみ、資源ごみ、臨時ごみ		
目標	搬入されたごみを適正に処理し、資源化及び焼却対象ごみ量の減量を図ります。		
結果	資源化率の向上		
事業概要	市が収集した大型複雑ごみ、小型複雑ごみ、有害危険ごみ及び資源ごみ8種の中から資源化できるものを選別し、資源化率の向上及び焼却対象ごみの減量を目指します。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	株式会社小野サービス
		委託先②	株式会社タカダ事業本部
		委託先③	林硝子株式会社
	主な委託内容		ごみの選別業務、施設の整備保守
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	353,944	349,197	373,628	359,746	381,103
人件費職員数(人)	7.50	7.50	8.50	8.50	9.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	61,275	59,250	68,442	68,442	71,505
総事業費(A+B)	415,219	408,447	442,070	428,188	452,608
特定財源(C)	33,515	31,597	42,270	50,038	45,209
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	33,515	31,597	42,270	50,038	45,209
市負担(D)	381,704	376,850	399,800	378,150	407,399
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	381,704	376,850	399,800	378,150	407,399
財源計(C+D)	415,219	408,447	442,070	428,188	452,608

所属	破碎選別工場
事務事業番号	00670

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	搬入ごみの全数処理	トン	目標値	11,499.00	11,638.00	11,742.00
			実績値	11,216.78	11,980.52	
			達成度(%)	97.50	102.90	
目標値の積算方法	吹田市一般廃棄物処理基本計画 後期改訂版 平成29年度(2017年度)～平成32年度(2020年度)	単位当たりコスト	総事業費(千円)	36.41	35.74	
			一般財源(千円)	33.60	31.56	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	資源化量	トン	目標値	6,324.45	6,400.90	6,458.10
			実績値	5,604.97	5,966.83	
			達成度(%)	88.60	93.20	
目標値の積算方法	ごみ搬入量の55%	単位当たりコスト	総事業費(千円)	72.87	71.76	
			一般財源(千円)	67.23	63.38	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由:プラント設備の老朽化により維持管理にかかる労力は増大してきているが、特に予算増額等もなく適切にごみ処理ができていたため。)</p> <p>【今後の方向性】 事業費等の評価を踏まえると目標は良好に達成できているが、特に延命事業で更新等しない設備については、適切な点検により計画的・年次的に整備等を実施し、設備故障等によるごみ処理停止が起こらないようにする。</p>

事務事業分析シート

所属名	破砕選別工場	事業名	ごみ処理事業	事業区分	その他
事務事業番号	670				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点
評価点合計 (100点満点)	92	④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
		※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	破砕選別工場	事務事業番号	670
-----	--------	--------	-----

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(1)妥当性 ごみ処理は長期停止が許されない事業であるため、プラント設備の日常的な保守点検とそれに伴う計画的な整備等により良好に事業が実施できている。</p> <p>(2)有効性 搬入されたごみを適正に処理し、資源化及び焼却対象ごみ量の減量が図れている。またこのことは、焼却工場の維持コストの節減にも、焼却工場の延命にもつながると考えられる。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 5日
16時58分05秒 作成

評価年度	平成29年度	所属	0009020600	破砕選別工場
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01450	破砕選別工場延命事業							
章	05	環境を守り育てるまちづくり							
節	03	循環を基調とするまちづくり							
細節	20	廃棄物対策の推進							
予算事業	11505	01	04	02	05	04	01	01	破砕選別工場延命事業（破砕選別処理費）
所属長	當 和浩				担当者（内線）大矢根（IP563-3001）				
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 吹田市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例								
事業開始年度	平成27年度	直近の改正			平成24年度				
改正内容	吹田市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例の全部改正								
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input checked="" type="radio"/> 建設事業 <input type="radio"/> その他		
対象	破砕選別工場・資源リサイクルセンター		
目標	安定したごみ処理事業の長期実施		
結果	安定したごみ処理事業の長期実施		
事業概要	老朽化した破砕選別工場（資源リサイクルセンター含む。）を延命するために年次的に工事等を実施		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	クボタ環境サービス株式会社大阪支社
		委託先②	メタウォーター株式会社西日本営業部
		委託先③	バンドー・I・C・S株式会社
	主な委託内容		工事等
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	
交付先②			
交付先③			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	83,388	71,376	197,963	190,544	230,276
人件費職員数(人)	1.50	1.50	2.00	2.00	2.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	12,255	11,850	16,104	16,104	15,890
総事業費(A+B)	95,643	83,226	214,067	206,648	246,166
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	95,643	83,226	214,067	206,648	246,166
地方債	0	0	0	0	0
その他	83,000	71,000	197,000	190,000	230,000
一般財源	12,643	12,226	17,067	16,648	16,166
財源計(C+D)	95,643	83,226	214,067	206,648	246,166

所属	破砕選別工場
事務事業番号	01450

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	年次的に工事等を実施	目標	老朽化した工場の機能の回復
成果内容	機能の回復	達成状況	計画通り機能の回復は進んでいます。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由:年次的に計画し、事業を実施しているため。)</p> <p>【進捗状況の評価】 延命事業開始時に想定していなかった機器の老朽化が進み計画を見直す必要が生じてきている。</p> <p>【今後の方向性】 延命事業計画の見直しを実施していく。</p>

事務事業分析シート

所属名	破砕選別工場	事業名	破砕選別工場延命事業	事業区分	建設事業
事務事業番号	1450				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	18	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	20	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点
評価点合計 (100点満点)	94	④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
		※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	破砕選別工場	事務事業番号	1450
-----	--------	--------	------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(1)妥当性 ごみ処理は長期停止が許されない事業であるため老朽化した設備の更新等は必要であり、今後も年次的に事業を実施していく。</p> <p>(3)効率性 延命事業開始時に想定していなかった機器の老朽化が進み計画を見直す必要が生じてきている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

補助対象事業
可能性調査の実施。